



球陽高校
SSH通信

科学上達

発行：沖縄県立球陽高等学校 SSH研究開発部

偉人達の
言葉

科学における偉大な進歩は、新しい大胆不敵な想像力からもたらされる。

Vol.1 (2013年5月1日)

ジョン・デューイ (教育哲学者)

4月の SSH活動

9日(火) 部紹介(SSクラブ)

10日(火) SSクラブエントリー説明会

16日(火) SSH講演会

19日(金) 理科・数学意識調査(1年宿泊研修)

その他 学校設定科目「SSH探究」スタート

SSH通信発行準備

SSH講演会

「磁石とナノテクノロジー」

～たった一粒のナノサイズ磁性体の振舞いを知りたい～

講師：北上 修 教授

(東北大学 多元物質科学研究所)



4月16日(火)の放課後、視聴覚教室にて東北大学(多元物質科学研究所)・北上教授を招いて「磁石」をテーマに特別講演会を実施した。

生徒、職員あわせて30名余りが参加し、磁石が我々の生活にどのように活用され、そして環境問題にどう影響されるかなど興味深い話を熱心に聞き入っていた。また、講演の中で研究者を目指す高校生へのお願いとして、「世界を意識して生きること」、そして「日本に留まらず国外へ出ること」の重要性を説いた。

講演の最後には進学校である球陽高校生に向けて次のメッ

セージをもらった。

「今、勉強していることの積分が後々の人生の土台になります。大学入試は大変ですが、将来に向けた自己鍛錬と思ひ、かけがえのない若い時間の一刻一刻を精一杯生き抜いてほしい。」

感想

「今、大学入試に精一杯で勉強がきついと言っているが、今回の講演で聞いた素晴らしい研究ができるかと思うと、そんなちっぽけなことは言ってもらえないと思った」(3年生)

「研究について堅苦しいイメージがあったが、電気や磁石など身近なものにも色々な数学や理科の知識が使われているを知って興味をもった」(1年生)



SSH探究

「SSH探究I」がスタート!!



SSH活動の一つである学校設定科目「SSH探究I」が1学年理数科でスタートした。各クラスとも最初の授業ではガイダンスとして、授業内容・担当者の紹介、SSH活動について説明が行われた。

2時間目からは物理・化学・生物・地学・数学の5グループに分かれて3時間単位の授業を受け、各分野の研究内容に触れることとなっている。

次号から各分野の具体的な取り組みを紹介いたします。

SSH部だよ!

SSH部ではSSH通信のタイトルとロゴマークを募集しています。

今号では仮タイトルとして「科学上達」となっていますが、このタイトルを超える名作を考えてください。

思いついた人は

理科職員室内のSSH部へ!